



日時：2022年7月29日（金）18:00～20:00

会場：我孫子市 五本松公園（我孫子市岡発戸）

主催：手賀沼流域フォーラム実行委員会 後援：公益財団法人山階鳥類研究所

趣旨：手賀沼湖畔に棲む生き物を日没前から夜間にかけて観察し、日中には見られない生き物の生態を知る。ライトトラップという観察方法を知り、親子で自宅や周辺の公園などでも夜の生き物観察を楽しみ、環境を大切に思う気持ちを育んでもらう。



講師：三森 典彰 さん

(株)BiotopGuild 代表取締役／Forestthree 代表／

東京環境工科専門学校非常勤講師／帝京科学大学非常勤講師

千葉市動物公園 動物科学館及び子ども動物園の運営を受託

“ビオトープ”という概念を用い、主に都市部の自然環境にまつわる仕事に従事。自然に興味がない人にも日常の中で、楽しみながら自然や生きものに目を向けてもらえる仕掛けづくりをモットーとしている。



※流域各市の広報等で参加を呼びかけ、18組の親子が参加しました。

参加：一般参加 34名（12家族、子ども19名、大人15名）

（柏市3組、我孫子市3組、松戸市1組、鎌ヶ谷市2組、白井市1組、印西1組、その他1組）

スタッフ 12名、講師 2名



18:00 開始



安全も確保して



懐中電灯にセロファンを被せます



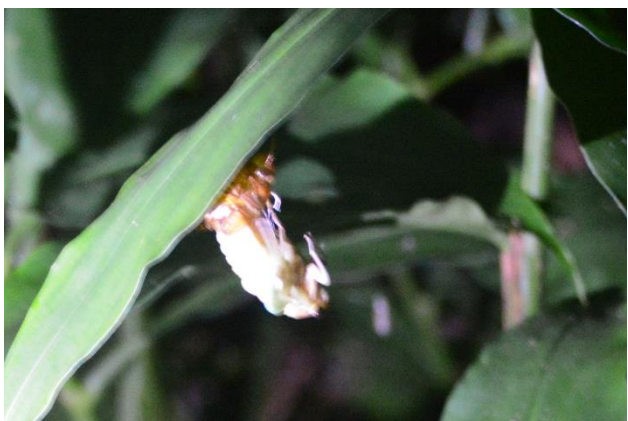
講師から説明



ライトトラップの会場設営



周辺の生き物探し・観察



セミの羽化の観察



さあ、どんな昆虫が来ているかな



観察できたもの

セミの羽化、アブラゼミ成虫、ミンミンゼミ成虫、ヒグラシ成虫、コクワガタ、カナブン、コガネムシ、マメコガネムシ、コフキコガネ、エサキモンキツノカメムシ、アオバハゴロモ、ミナミアオカメムシ、ショウリョウバッタ、ゴミムシ、シデムシ、ハンミョウ、ヒカゲチョウ、カゲロウの仲間、ニイニイゼミ、イトトンボ、ヌマガエル

参加者アンケートより

- ◆ 去年は落選し、今年念願叶って参加することができ楽しみにしていました。ずっと見たかったセミの羽化が見られて、ライトトラップでたくさんの虫と戯れることができ、子供は大満足だったようです。先生のお話が面白く、大人も楽しめました。また当選したらぜひ参加して、他の虫も見つけてみたいです。ありがとうございました。
- ◆ 専門の先生と観察出来るのはとても楽しかったです。命の大切さも学べて貴重な体験でした。また参加したいです。
- ◆ セミの羽化の観察では、最後まで見たい組と飽きた組で途中から二手に分かれましたが、とても良かったと思います。これはその日の体調やその子の興味にもよると思いますので、今後も年齢で区切ったりせず参加させてもらえるとありがたいです。小さくても熱心な子もいると思うので。観察するときに子供同士で場所を譲り合ったり、じっとしゃがんでセミのペースで行われる羽化を待つことは大切なことだと思います。大袈裟かもしれませんが、昆虫の知識だけでなく、譲り合いや忍耐など、社会的に必要なことも経験できたのではないのでしょうか。みんなで見やすいよう、スクリーンやカメラなどの機械に頼ることもできるかもしれませんが、画面を見るのであれば昆虫図鑑の付録のDVDでいいのです。色々なこと込みで、生で観察する経験でき良かったです。子供たちも楽しかったと言っていました。ミツモリ先生、スタッフの皆様、ありがとうございました！
- ◆ 約束を守れない程、子供が夢中になっている姿は驚きでした。私には当たり前でも子供には大喝采でした。これからも催事をお願いします！きっと子供は大興奮間違いなしです。